



TITLE:

## 先輩からのメッセージ

AUTHOR(S):

荒戸, 寛樹; 吉田, 晋也; 大隈, 拓也

---

CITATION:

荒戸, 寛樹 ...[et al]. 先輩からのメッセージ. 岩本ゼミナール機関誌 2008, 12: 212-213

ISSUE DATE:

2008-02-19

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/57046>

RIGHT:

## VI. 先輩からのメッセージ

9 期生 荒戸 寛樹

岩本ゼミの皆様

岩本ゼミの卒業生の方々は皆様社会の第一線でご活躍されている中、私は未だ大学に残り博士課程の院生として雌伏の日々を過ごしております。

現役生の皆様、今年度はなかなかゼミに参加できませんでしたが、来年度は時間の許す限り参加しようと思っていますので、どうか温かく受け入れて下さい。岩本ゼミが刺激的であり続けるかどうかはひとえに皆様にかかっています。来年度も皆様の活躍を期待しています。

ご卒業される皆様、本当におめでとうございます。皆様とは非常に仲良くさせていただきました。合宿に行って酒を酌み交わし温泉で裸の付き合いをしたのは僕の大切な思い出です。皆様もそれぞれに、大学時代の思い出ができたであろうと思います。そういった無形の物こそが皆様が大学で得た最高の資産であると信じます。先生はもちろん、私もしばらく大学にいると思いますので、いつでも遊びに来てくださいね。

最後になりましたが、現役生、卒業生、OB、OG 全ての方々のご多幸とご活躍を心よりお祈り申し上げます。

荒戸寛樹（京都大学大学院博士課程）

11 期生 吉田 晋也

13 期生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

卒業後、京大の演習室に顔を出すことはできなくなりましたが、東京で開催される ISFJ の論文大会等を通して、皆さんのゼミ活動の充実ぶり、チームワークの良さに触れてきました。数多くの大学が参加する場で、自らの研究成果を堂々と発表する後輩の姿を見ることは、いち OB としては大変嬉しいことです。論文を読んでいると、深夜までかかって、データの収集・分析や議論をしている皆さんの様子が目に映るようで、一つの研究テーマを深耕する生活からは離れている私にとっては、非常に刺激を受けるものでした。

今、私は、日本企業が海外で行うプロジェクトに対して融資を行うという仕事に就いて 2 年目となりますが、英語や金融の知識、そして仕事を進める力が、不足していると感じることが多い毎日です。それでも、世界経済に対する考え方、金融の知識といった少々固いことから、文章の書き方、データの収集の仕方、そして飲み会の作法といったことまで、岩本先生や先輩・仲間から学んでいた基礎が生きて前に進めることも多く、改めて岩本ゼミ

ミで学んでよかったなと思っています。

皆さんもこれから各々、様々なフィールドに進むことと思いますが、岩本ゼミで身につけたことに自信と自負を持って、そして何より同回の仲間大切にしながら、変化の多い社会で活躍されていってください。もし関東に来られる方がおられれば、是非、来秋の論文発表大会に顔を出し、共に後輩の活躍に目を細めましょう。

12期生 大隈 拓也

13期生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

私の個人的な印象ですが、皆さんのやる気に火がついた時のエネルギーの大きさは凄いと思いました。

相も変わらず国際経済の動きはめまぐるしく、私は知識のアップデートに追い立てられる毎日を送っております。

そんな作業の土台となっているのは、ゼミで身につけた知識や考え方です。自分の頭を使い、手を動かして論文やらディベートやらに取り組んだ経験が血肉となっているのを今更ながらに実感します。

皆さんとそのような時間を共有できたことを嬉しく思うと同時に、将来何らかの形で一緒に仕事ができたら面白いだろうな、などと考えております。

ゼミでの経験を上手に活用しつつ、各々の道でご活躍下さい。またいつか、酒でも飲みながら近況を語り合いましょう。